

市民の方に概要がわかるよう、必要に応じて、枠を広げて記載してください。

## 1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市老人福祉センター「ふれあい」
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 名張市丸之内 79番地
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	平成23年度 年間延べ利用者数 20,175人 開館日数 299日
(4) 市支出額	指定管理料 21,300,000 円
(5) 管理運営の状況	管理施設の管理運営に関する業務 生きがい活動、趣味活動、日常訓練及び入浴に関する業務 福祉バスの運行管理に関する業務 管理施設の設備及び備品の管理に関する業務 保健及び福祉等の関係機関との連携

## 2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	(1) 利用者の平等な利用の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用の周知のため、案内チラシを市により、65歳の方への介護保険証とともに送付を行いました。</li> <li>また、地区民生児童委員協議会で案内チラシ配布や事業参加者の募集を周知しました。</li> <li>センター内にあるカラオケ機器やヘルストロン等といった備品設備の利用は、設定されたルールに沿って円滑な利用を行ないました。</li> <li>地区割り指定利用日の利用が不可能な方には、利用曜日を変更し誰もが利用できるように対応しています。</li> <li>自主サークルや同好会の活動の活性化のため、利用日程の調整や活動場所の調整を行いました。</li> </ul>
	(2) 障害者・高齢者等への配慮 <ul style="list-style-type: none"> <li>シルバーカー、歩行器、車いす等の設置をしています。</li> <li>福祉バス乗降時の転倒予防のため、ステップ出し、声かけ、介助等を行っています。</li> <li>体調不良を訴える方(又は体調の悪そうな方)や元気のない方に対してバイタルチェックや相談を行い、本人同意のもと家族や専門機関への連絡調整を行っています。継続して利用時の見守りをしていたなかで、身体機能の低下に伴う生活上の困難が考えられた利用者について関係機関に連絡、情報提供し、支援へとつながりました。</li> <li>事故等を未然に防ぐために、浴場を主体に施設内の見回りをチェック表をもとに30分ごとに実施しています。必要時には、頻回に見回りを実施しています。</li> <li>介護や付添いが必要な方の利用のため、介護者や付添い者の利用料金を減免し対応しています。</li> </ul>
	(3) サービス向上策 <ul style="list-style-type: none"> <li>受付に職員が常駐し、利用料の徴収を行ない、円滑に利用が出来るようにしています。また、受付場所に血圧測定器を置き、血圧測定を通して気軽にくらしの不安、健康の相談ができるようにしています。</li> <li>利用者の方が可能な限り、現金を持ち歩くことを少なくするために回数券をカード化した「ふれあいカード」の利用済みのものを応募券として、月1回「お楽しみ抽選会」を行い、当選者には、1日無料利用券を発行しています。</li> <li>利用者の買い物や昼食のお弁当の持参に対応して、食品の保存のため冷蔵庫の利用ができるようにしています。</li> <li>センター利用の多くの方が活用される福祉バスの発着時の対応として、バス乗降時の段差に対応するため、段差解消のステップを活用し、職員が乗降時に見守りや必要に応じて介助を実施しています。また、福祉バスについて、優先的にノンステップバスの走行がされています。また、帰宅時のバスについては事前にアナウンスを入れることはもちろんのこと、乗り遅れてしまう方がないように、施設内の確認と声かけを実施しました。</li> <li>利用者が衛生的に施設や備品が使用できるように、清潔の保持に努めています。</li> </ul>

施設効用の最大限発揮（利用促進、利用者増など）に向けた取組	<p>(1) 啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用の周知のため、案内チラシを市により、65歳の方への介護保険証とともに送付を行いました。また、地区民生児童委員協議会で案内チラシ配布や事業参加者の募集を周知しました。</li> <li>社会福祉協議会広報誌「ほほえみ」やホームページにより、当センターの事業案内や各種講座教室の案内を掲載しました。</li> </ul>	
	<p>(2) 生きがい活動支援通所事業</p>	
	生活相談	受付等にて、随時利用者のくらしの不安等の相談に応じました。
	ふれあい交番	月1回警察官による地域防犯や交通安全に関する講話を実施しました。
	110番の日	1月10日に、警察官による「正しい110番のかけ方」などのお話を実施しました。
	「替わり風呂の日」	月1回（6月と12月は1週間）入浴剤等で、「替わり湯」を実施しました。
	映画会	月1回（月～土）映画などの上映を行いました。
	料理教室	利用者の交流と仲間作りのきっかけとして「旬の野菜を使った季節料理」を実施しました。
	各種発表会	利用者の発表と交流の場を提供し、楽しみや生きがいに繋がるように実施しました。開催にあたっては、利用者の方やボランティアの方の協力により実施しました。ビリヤード大会（2回）、七夕カラオケ大会、新春カラオケ大会、芸能発表会を開催しました。
	ホスピタルライブ	3月に、シンガーソングライター；松尾貴臣さんによるコンサートを実施しました。
	HOT、温かほんわか会	3月に、具だくさん味噌汁を提供し、利用者同士の交流をはかりました。
	<p>(3) 各種自主サークル活動への支援</p> <p>センターが実施した講座等をきっかけにしたものや、ボランティアの方が主体的にかかわりながら発生したサークルや 利用者が主になり始めたサークル活動を支援しました。</p> <p>また、新しく活動を始める自主サークルが、スムーズに活動できるように支援しました。</p> <p>2次予防事業終了生によるサークル（ばりばりサークル）活動開始の支援を行ないました。</p> <p>茶室での茶道の自主練習を支援しました。</p> <p>&lt;サークル&gt;</p> <p>カラオケ教室、ふれあいハーモニー（コーラス）、いきいき書道クラブ（漢字）、いきいき書道クラブ（かな）、茶道教室、ながつきの友（茶道）、ビリヤード教室、ものづくり、ばりばりサークル、など</p> <p>サークルの中には、ボランティアとして他の福祉施設への訪問活動を実施されているものもあります。</p>	
	<p>(4) 地域活動への支援</p> <p>名張地区民生児童委員協議会による、「高齢者のつどい」の実施を支援しました。</p>	
	<p>(4) 介護予防事業（一般高齢者対象介護予防事業）</p>	
	健康相談	受付にて、希望者に血圧測定・健康相談に応じました
	一般マシン・トレーニング教室	年間5クールに分け、1クール7回のコースで、運動器向上のため実施しました。
	ヘルスアップ教室	心身ともに健康でいきいきと、生涯健康生活を目指すように、「大人のリトミック」「料理教室」を実施しました。
	健康チェックデー	4月と11月に、身体・体力測定を希望者に実施し、併せて健康相談を実施しました。
	「私の健康カルテ」の発行	健康管理や介護予防への意識づけを目的に各介護予防事業時に希望者に発行しました。
	歯科衛生士による歯科相談	歯科衛生士による、歯科相談を実施しました。（3回/年）
	<p>(5) 介護予防事業（2次予防事業対象者介護予防事業）</p> <p>2次予防事業：名張市において「要支援・要介護のおそれのある者」として特定された者を対象とした事業で、地域包括支援センターとの連携のもとに実施されるものです。</p>	
運動器の機能向上「足腰ばりばり教室」	マシンを活用し、運動器（特に下肢）機能を向上させ、転倒予防や自立力向上を図る教室を実施しました。	
口腔機能向上・栄養改善「栄養ばりばり！！健口教室」	集団教育の形式で1つの教室で、歯科医師、歯科衛生士、栄養士の協力を得て、口腔機能向上、栄養改善を図る教室を実施しました。	

<p>施設の適切な維持管理及び経費節減への取組</p>	<p>経年劣化による機器の故障や施設の汚損が多くなってきたため、危険度の高いものから補修等を行った。（浴室タイル修理、浴室引き戸レール交換、ガスヒーボン修理等）  「老朽設備等不具合状況報告書」を提出し、施設の管理・改修について提案した。  水道光熱費については、引き続き、夏期使用電力の制御（デマンド監視）を継続して行い、各部屋に温度・湿度計を設置して節電に取り組み、館内の電球を25%減らしたことにより、猛暑であったが、全館で昨年度より電気使用量を16%減らすことができた。</p>
<p>施設管理を的確に行う人員配置・職員研修等への取組</p>	<p>高齢者や障害者が利用させる社会福祉施設であり、日常業務における運営を保健師が主体となり、看護師、介護員（ヘルパー2級）、業務補助職員の4名を配属して、施設管理や相談援助などを行ないました。防災訓練では、3階から階段で負傷者を避難誘導させる訓練を行ないました。  介護予防事業の実施においては、「介護予防運動指導員」の資格を持つ、保健師、介護員が担当しました。</p>

### 3 施設設置者（名張市）評価

指定管理協定に基づく業務は適正に実施された。  
案内チラシを市が発送する65歳の方への介護保険証と共に送付するなど、新たな啓発にも取り組まれている。  
新たな生きがい活動支援通所事業や各種自主サークル活動への積極的な支援にも取り組まれている。  
今後もより一層自主事業の充実を行い、サービス向上に努めていただきたい。

名張市老人福祉センター「ふれあい」の管理に関する業務の収支決算書（23年度）

（単位：円）

区分	項目	計画額	決算額	内訳等
収 入	利用料金収入	4,000,000	3,755,450	施設利用料 3,755,450
	参加費収入	846,000	672,211	カラオケ参加費 667,711 介護予防参加費 別途報告 料理教室 4,500
	指定管理料収入	21,300,000	21,300,000	老人福祉センター指定管理料
	市委託料収入	13,267,000	0	介護予防委託料(別途報告)
	雑収入	0	4,030	公衆電話利用料金 4,030
	受取利息配当金収入	0	1,200	預金利息
	収入合計(A)	39,413,000	25,732,891	
支 出	人件費	12,030,000	4,516,962	職員俸給・賃金 3,194,071 法定福利費 572,051 職員手当 630,840 退職預金積立金 120,000
	事務費	1,346,000	434,713	福利厚生費 15,680 保守料 11,000 損害保険料(職員賠償) 6,960 (パソコンウイルス対策) 租税公課 356,800 消耗品費 14,936 通信運搬費 29,337
	事業費	18,003,000	13,017,271	賃借料 509,670 通信(NHK・ケーブル) 19,060 消耗品 194,235 ハス運行委託 12,022,758 医薬品費 1,830 教養娯楽費 114,718 諸謝金 5,000 広報費 50,000 損害保険料(利用者) 100,000
	管理費	8,034,000	7,995,366	ヘルストロン保守料 53,025 水道光熱費 6,257,744 風呂水質検査等 476,280 (下水道接続増) 清掃委託料 1,179,328 修繕費 21,315 燃料費 7,674 (風呂タイル補修)
	支出合計(B)	39,413,000	25,964,312	
	収支 (A)-(B)	0	231,421	